

紡織の考古学

紡ぐ・織る・縫う

主催 山梨県考古学協会
共催 帝京大学文化財研究所

日本列島内の織布の存在はすでに縄文時代から知られ、特に律令期においては調庸布として地方から都に貢進される一方、在地の特産品として生産し交易活動がおこなわれていたことは周知のとおりである。

前近代では支配者層向けの生産と民衆向けの生産が一貫しておこなわれていたが、支配者層向けの織物生産や布製品生産に関わる史料は比較的豊富でありながら、民衆向けのそれらに関わる史料は少なく、その実態は未だ不透明である。

今回の研究集会では、列島各地で出土している紡織縫具に関わる遺物や、それら遺物が出土している遺跡の検討を通して、未だ不透明な状況となっている古代地域社会における紡織および衣服生産体制のあり方やそれら技術の特質などについて考古・文献の両視点から考えてみたい。

日時

2013年 1月26日(土) 午後1時15分～午後4時50

2013年 1月27日(日) 午前10時10分～午後3時10分

会場

帝京大学文化財研究所 大ホール

〒406-0032 山梨県笛吹市石和町四日市場1566
大駐車場あり

資料代

[予定] 2,000円

申し込み

参加ご希望の方は、参加希望日、懇親会参加有無を明記して、2013年1月23日(水)までに、ハガキ・手紙・電話・FAX・メール等で下記宛までお知らせください。なおやむを得ない場合は飛び込み参加も可能。ホテル等の宿泊所の手配は各自でお願いいたします。

日程&内容

(敬称略, 発表内容は仮タイトルです)

2013年 1月26日(土)

13:15～13:30 開会挨拶

13:30～13:50 平野 修(帝京大学文化財研究所)「趣旨説明」

13:50～14:30 末木 健(山梨県中央市豊富郷土資料館)

「古代中部地方における苧引鉄について」

14:30～15:10 中沢 悟((財)群馬県埋蔵文化財調査事業団)

「紡錘車について」

15:10～15:30 休憩

15:30～16:10 鈴木敏則(静岡県浜松市教育委員会)

「木製紡織具の画期と背景 - 東海の事例から - 」

16:10～16:50 合田芳正(共和開発(株))

「『縫針』とその周辺」

18:00～ 懇親会(会費:5,000円前後を予定)

2013年 1月27日(日)

10:10～11:00 三上喜孝(山形大学)

「古代日本における織布の生産と流通 - 文字資料を手がかりに - 」

11:50 大橋信弥(成安造形大学)

「渡来氏族と織物生産 秦氏を中心に」

11:50～12:50 昼食・休憩

12:50～13:40 東村純子(日本学術振興会)

「考古学からみた紡織技術と生産」

13:50～15:10 全体討議

司会: 大隅清陽(山梨大学)・室伏 徹(釈迦堂遺跡博物館)

問い合わせ・申し込み

山梨県考古学協会事務局(平野・望月)

〒406-0032

山梨県笛吹市石和町四日市場1566 帝京大学文化財研究所内

電話 055-263-6441 / FAX 055-261-0462

(山梨県考古学協会 / E-Mail: y-sankoukyou_1979@hotmail.co.jp)